



東京都の経済情勢報告

令和 8 年 8 月 5 日
財務省関東財務局
東京財務事務所

※掲載した経済指標等は、令和 8 年 7 月 22 日までに公表されたもので速報値を含む。

1. 総論

【総括判断】「都内経済は、緩やかに回復している」

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
総括判断	回復しつつある	緩やかに回復している	

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復している。産業活動は、回復しつつある。雇用情勢は、改善している。

【各項目の判断】

項 目	前回（8 年 4 月判断）	今回（8 年 7 月判断）	前回 比較
個人消費	回復しつつある	緩やかに回復している	
産業活動	回復しつつある	回復しつつある	
製造業	回復しつつある	回復しつつある	
非製造業	回復しつつある	回復しつつある	
雇用情勢	改善している	改善している	
設備投資	7 年度は増加見込みになっている	8 年度は増加見込みになっている	
企業収益	7 年度は増益見込みになっている	8 年度は減益見込みになっている	
企業の 景況感	現状判断は、「上昇」超幅が縮小	現状判断は、「上昇」超幅が縮小	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店販売額、スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。宿泊や飲食サービス等については、緩やかに回復している。このように、個人消費は、緩やかに回復している。

(主なヒアリング結果)

- 売上げは前年同期を上回っており、業況は良い。株高による資産効果を背景にラグジュアリーブランドの売上げが伸びているほか、気温上昇により日傘などの季節商品の需要も堅調。(百貨店)
- 価格転嫁の進展により客単価が上昇している中、販促活動の奏功により需要を取り込んでおり、売上げは前年同期を上回っている。(コンビニエンスストア)
- 売上げは前年同期を上回っている。特にエアコンの売上げが伸びており、2027年度に省エネ基準が強化されることを見据え、駆け込み需要が生じている。(家電量販店)
- 気温上昇に伴い制汗剤などの季節商品が好調。このほか、中東情勢の影響によりごみ袋やラップの需要が増加しており、売上げは前年同期を上回っている。一方、消費者の節約志向は続いており、買上げ点数は前年を下回っている。(ドラッグストア)
- 推し活需要は旺盛で、アニメとのコラボレーション商品が売れている。このほか、気温上昇に伴い季節商品も堅調であることから、売上げは前年同期を上回っている。(ショッピングセンター)
- 節約志向が強まる中、低価格帯商品を充実させており、客数、売上げの増加につながっている。なお、中東情勢の影響によりテイクアウト容器が一時的に不足していたことから、代替調達先の確保により対応した。(飲食サービス)

■ 産業活動 「回復しつつある」

製造業は、汎用・生産用・業務用機械等で減少している一方、印刷や化学等は増加しており、回復しつつある。非製造業は、卸売業等で増加しており、回復しつつある。このように、産業活動は、回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 旺盛な新薬需要を背景に医薬品を増産している。なお、中東情勢の影響により一部原材料が調達困難となっていたものの、代替調達先を確保することで対応しており、生産体制には影響を及ぼしていない。(化学)
- 航空機需要が旺盛である中、航空機エンジン部品を増産している。売上げは前年同期を上回っており、業況は良い。(輸送機械)
- 中東情勢の影響により調達困難となっている原材料があり、当社製品の一部も生産停止に追い込まれている。(生産用機械)
- 金属資源の需要は堅調であり、特にAIやデータセンター需要を背景とした銅価格の上昇が、売上げの増加に寄与している。(卸売)
- 中東情勢の影響で船舶の運航に遅延が生じているほか、中東向け貨物の取扱量も減少している。(運輸)

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は横ばいであるものの、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあり、雇用情勢は改善している。

(主なヒアリング結果)

- 店舗スタッフの人手不足感が強まっている。このため、品出しに遅延が生じているほか、加工食品の提供に支障を来している。(小売)
- 人手不足の問題は深刻化しており、特に製造現場において不足感が強く、納期遅れや残業の増加につながっている。このため、中途採用に力を入れている。(製造)
- 建設現場の技能労働者を中心に人手不足感が強まっており、人材確保を目的にベースアップを実施した。(不動産)

■ 設備投資 「8年度は増加見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

○ 8年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込みになっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

○ 8年度の経常利益は、製造業、非製造業とも減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超幅が縮小」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

○ 先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っている。

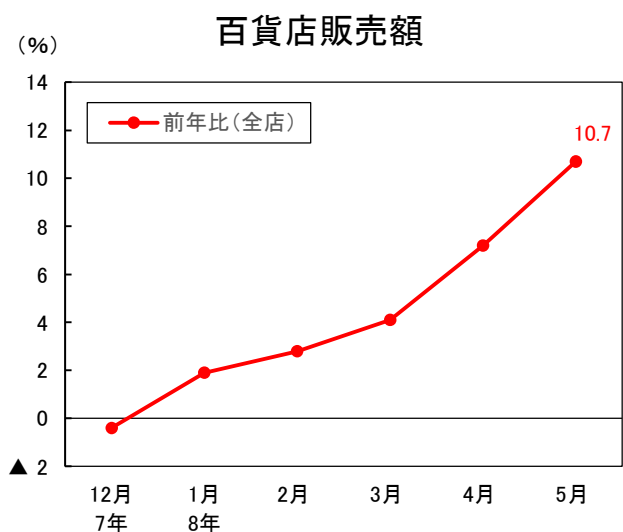
東京都の経済情勢報告

資料編

※掲載した経済指標等は、令和 8 年 7 月 22 日までに公表されたもので速報値を含む。

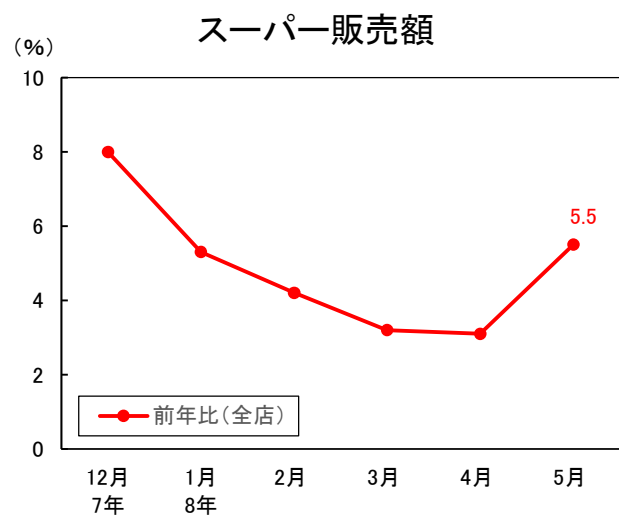
1. 個人消費

【グラフ1】



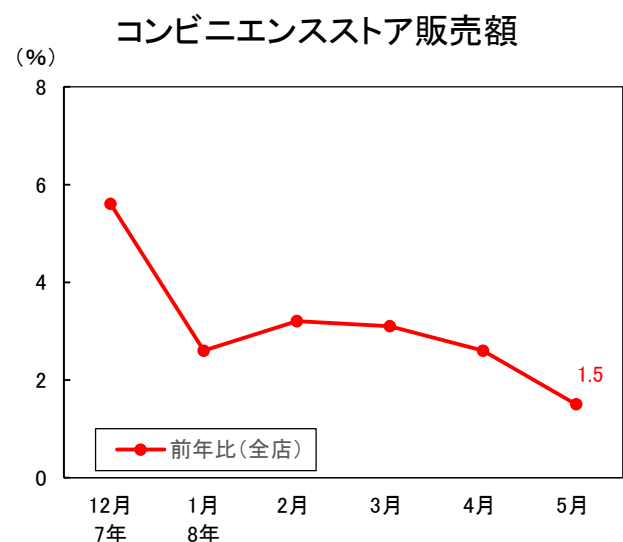
【経済産業省】

【グラフ2】



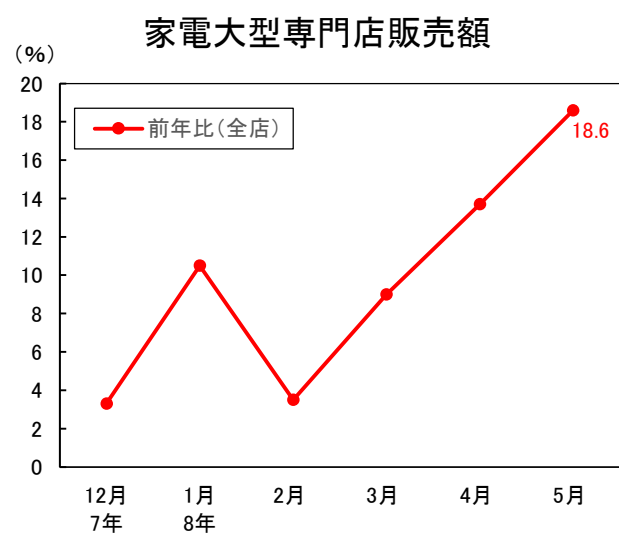
【経済産業省】

【グラフ3】



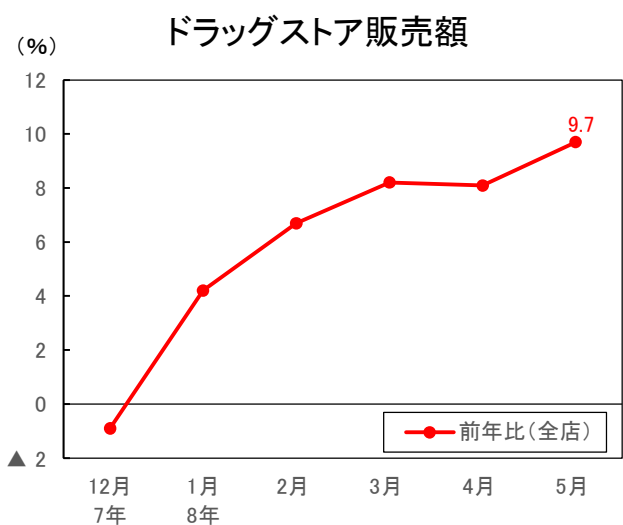
【経済産業省】

【グラフ4】



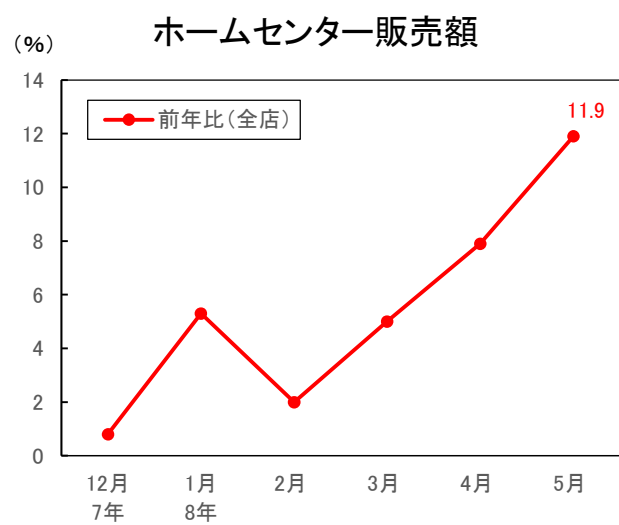
【経済産業省】

【グラフ5】



【経済産業省】

【グラフ6】

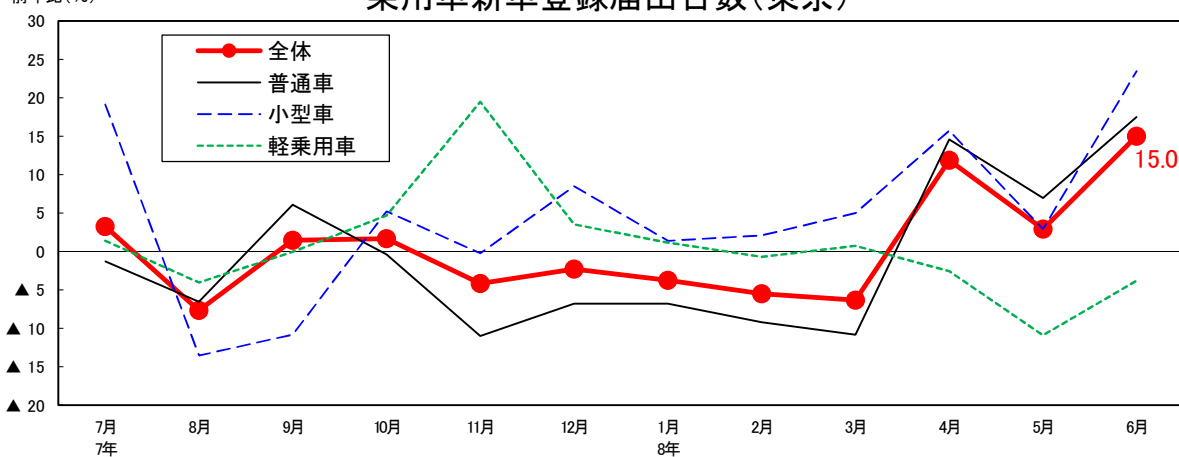


【経済産業省】

【グラフ7】

前年比(%)

乗用車新車登録届出台数(東京)



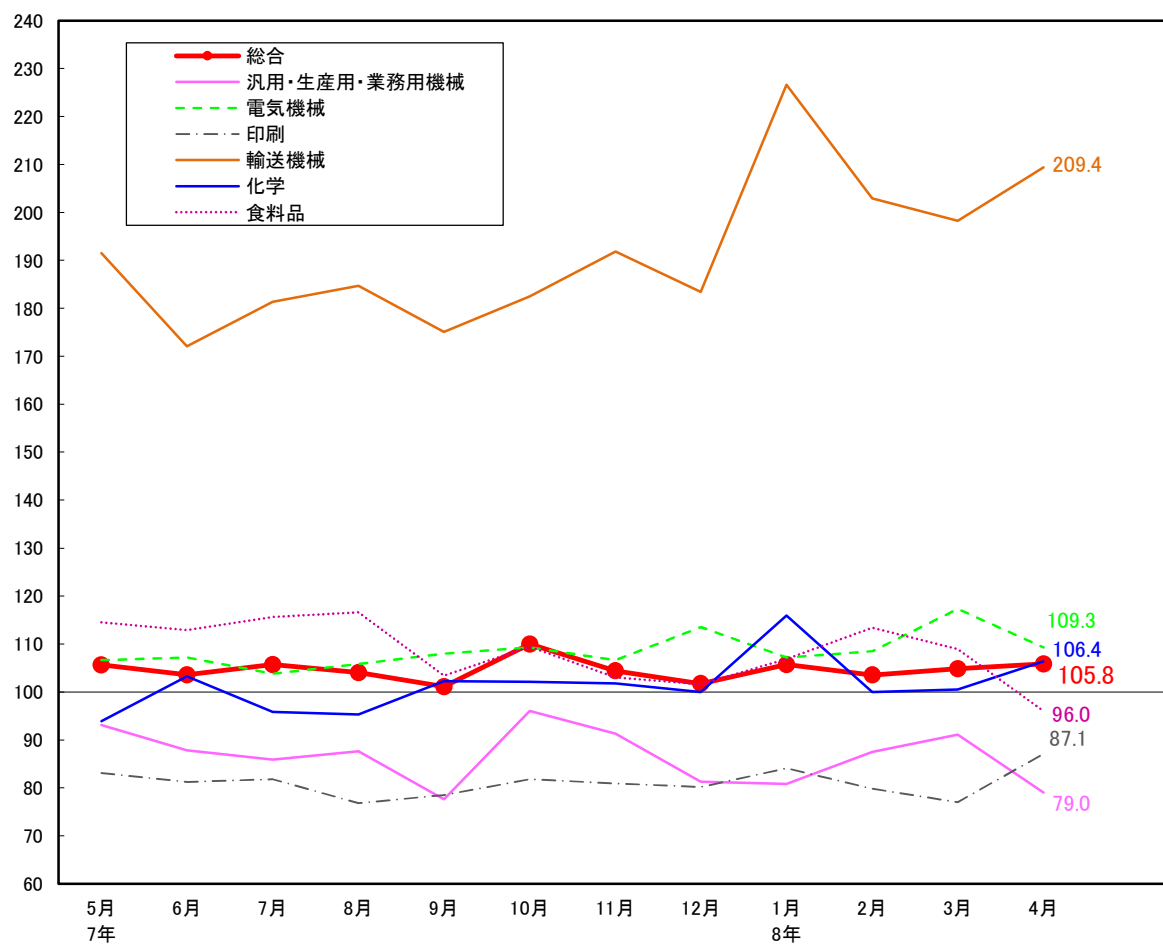
【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

2. 産業活動

【グラフ8】

(指数) 令和2年=100

東京都 工業生産指数(季節調整値)

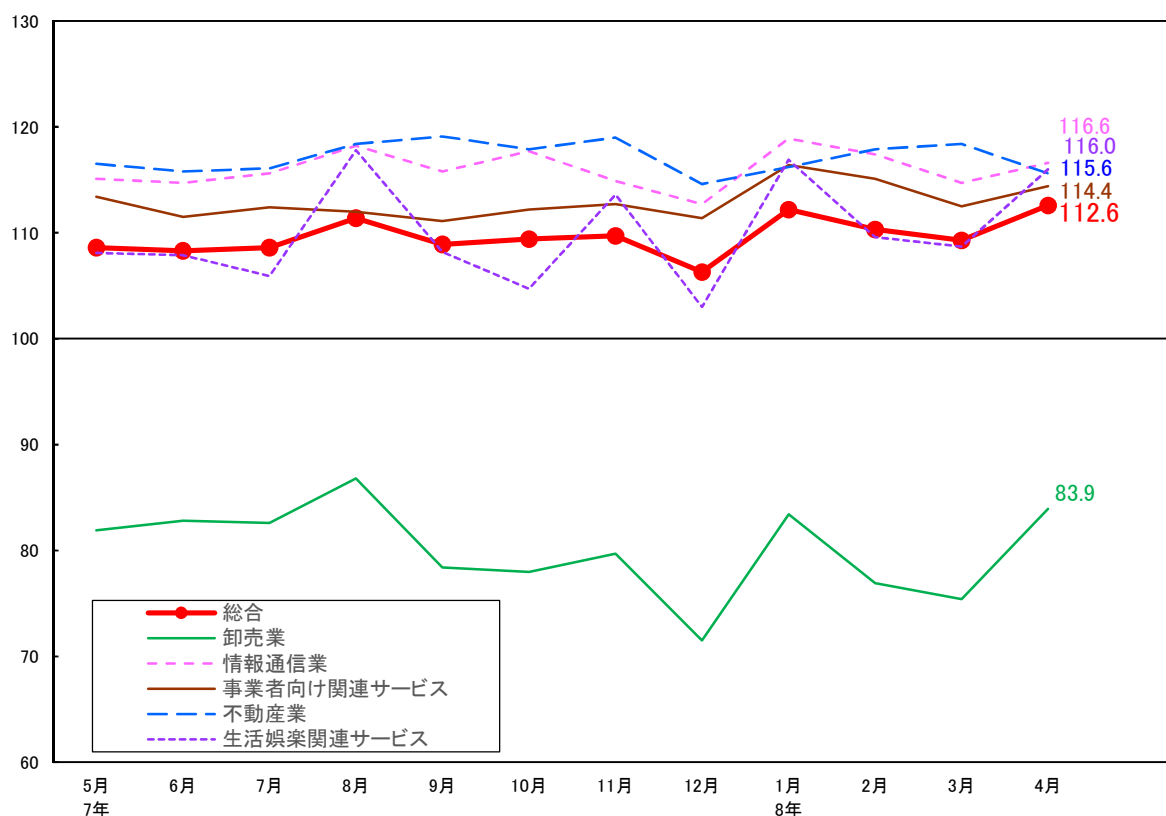


【東京都】

【グラフ9】

(指数) 平成27年=100

東京都 第3次産業活動指数(季節調整値)

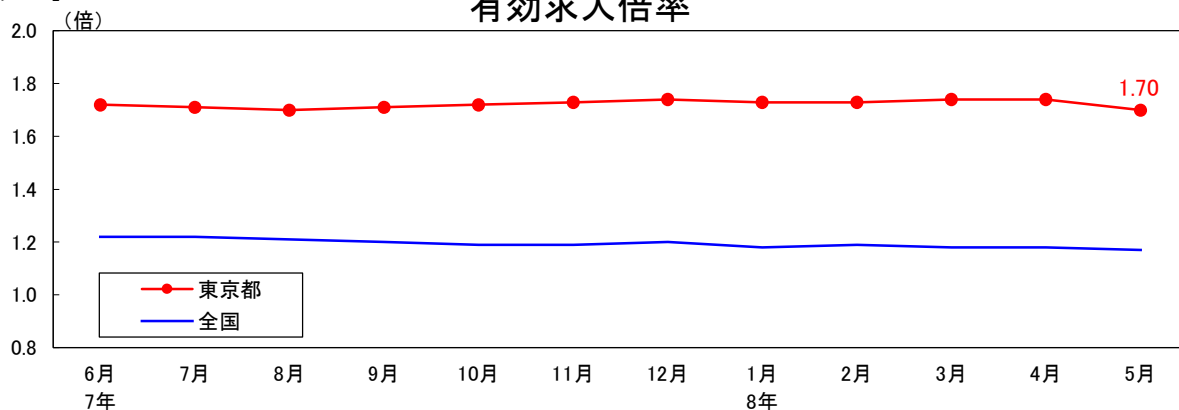


【東京都】

3. 雇用情勢

【グラフ10】

有効求人倍率



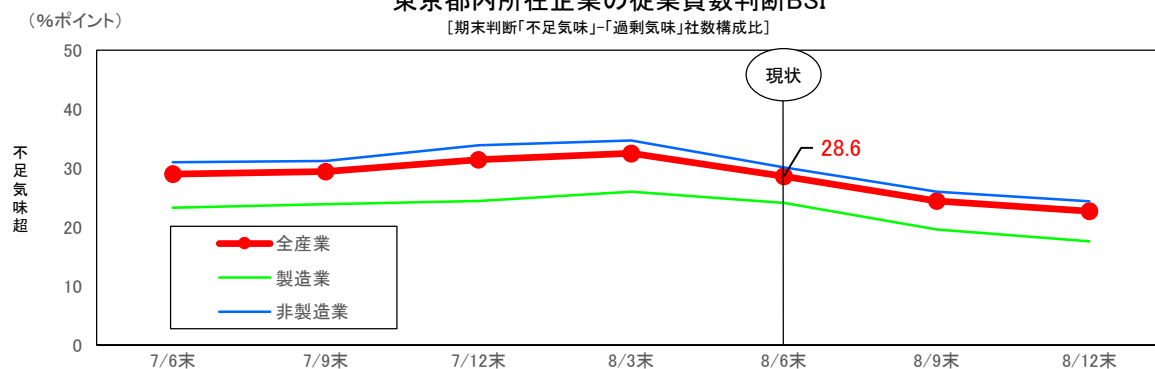
※季節調整値、パートを含む

【厚生労働省】

【グラフ11】

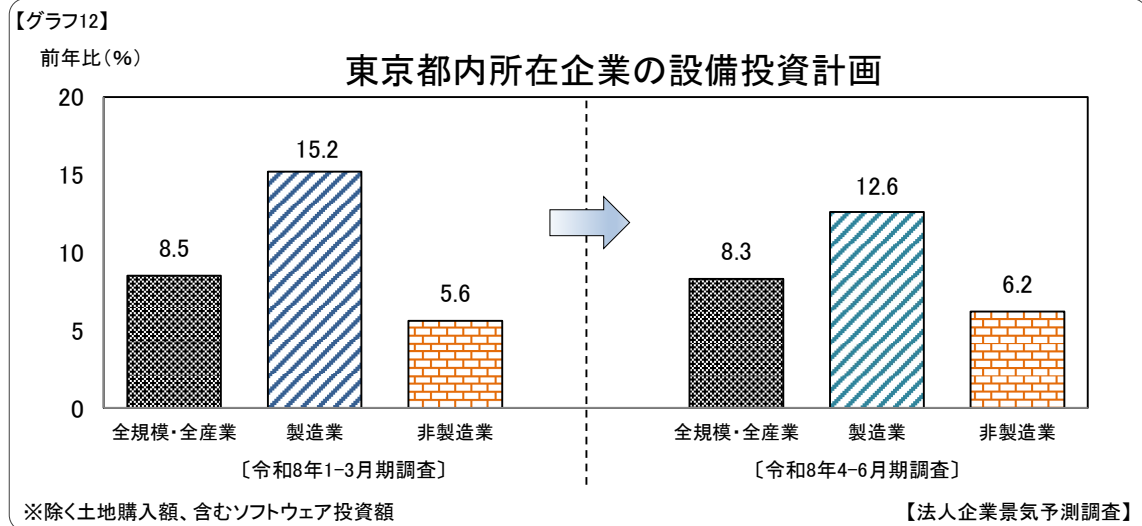
東京都内所在企業の従業員数判断BSI

[期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比]

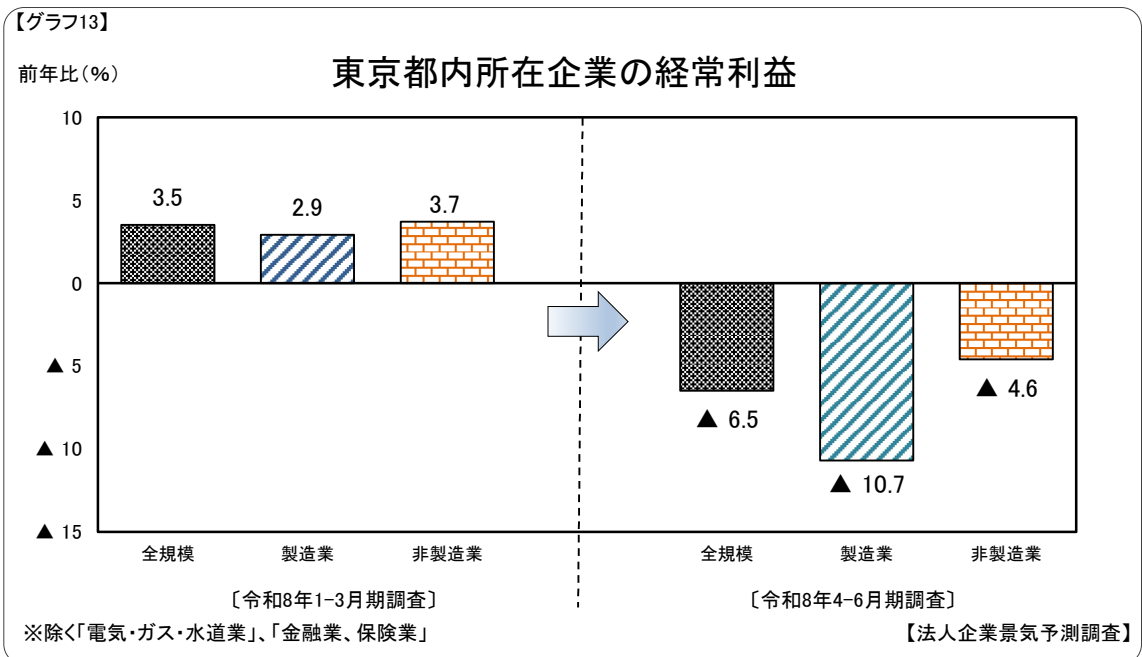


【法人企業景気予測調査】

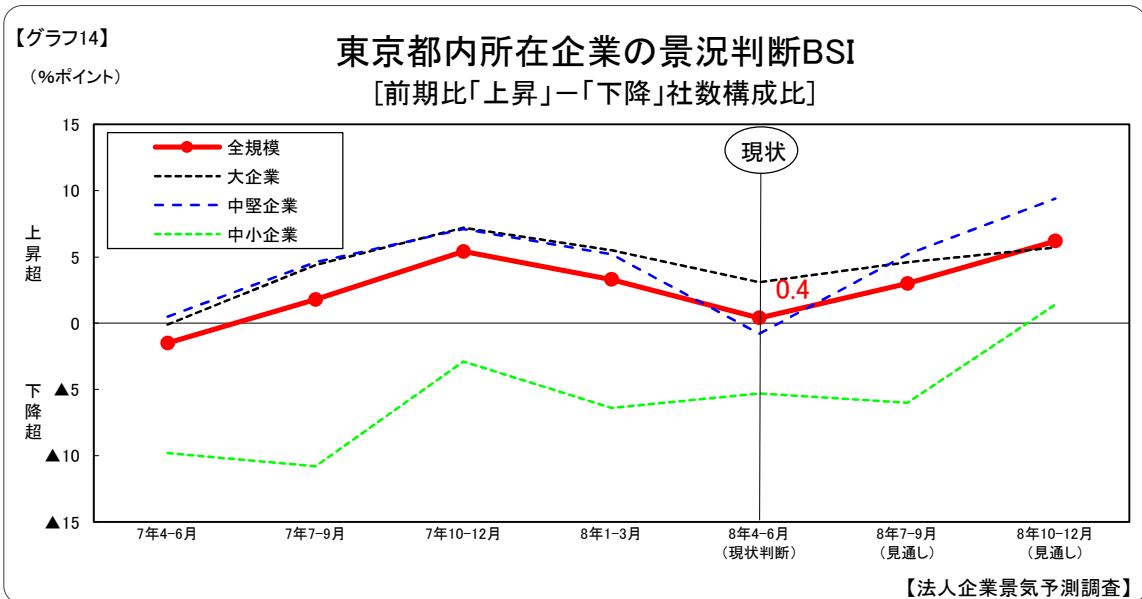
4. 設備投資



5. 企業収益

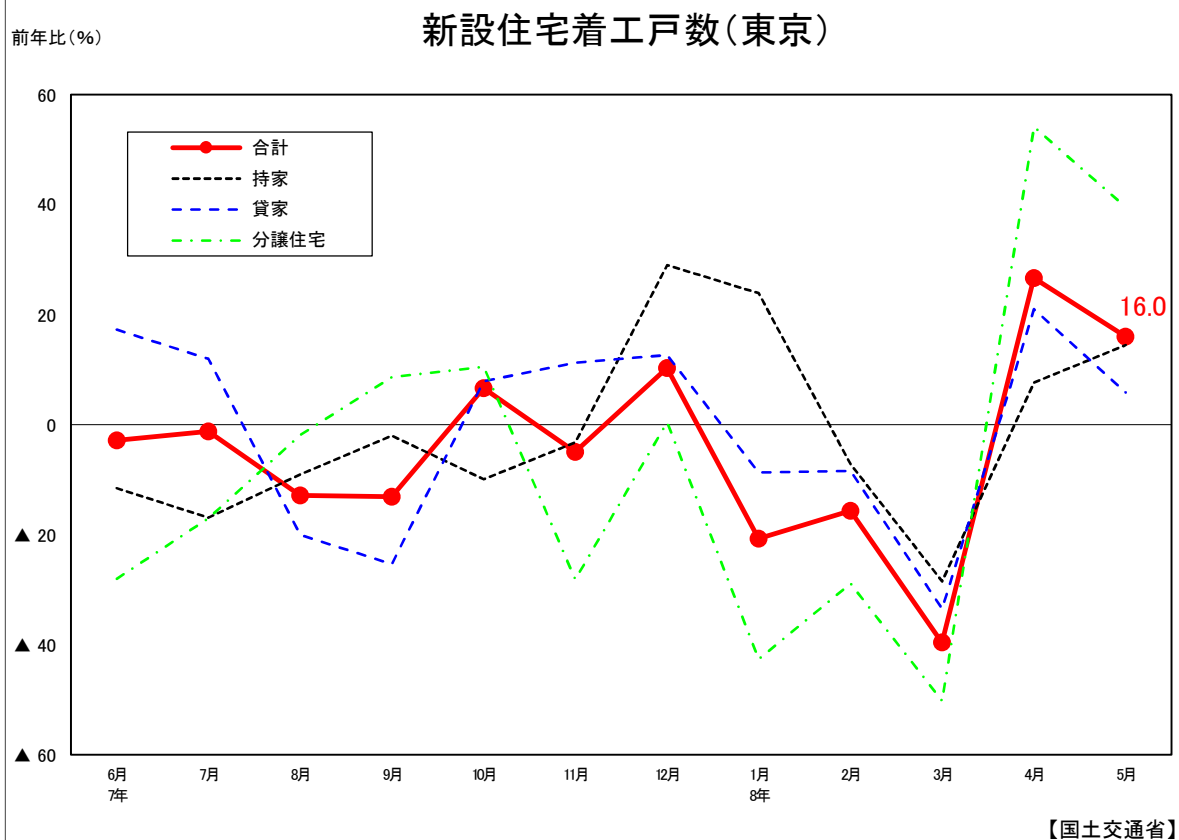


6. 景況感



7. 住宅建設

【グラフ15】



8. 公共事業

【グラフ16】

